

SDGs宣言書

墨田区長様

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

<宣言日・変更日> 令和4年12月8日

企業・団体名：公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

代表者 役職：代表理事

氏名：今井 悠介

記

事業者・団体等としての2030年までのあるべき姿	チャンス・フォー・チルドレンは、2011年より、家庭環境の格差による教育格差を解消することを目指し、塾や習い事、体験活動等で利用できるスタディクーポンを提供してきた。2030年にむけて、スタディクーポンの政策化を推進、子どもの体験格差解消に特化した事業の立ち上げ・推進を行い、家庭の経済状況や一人ひとりの特性に関わらず、子どもたちを多様な学びの機会によって包摂できる社会を目指す。
--------------------------	--

・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）

<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			

・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。

国内の子どもの7人に1人が相対的貧困状態にある。家庭で私費負担する子どもの教育費のうち6割以上を 学校外教育費が占めており、生活困窮世帯の子どもは、放課後に十分な学びの機会を得ることができない。チャンス・フォー・チルドレンは、2011年より、家庭環境の格差による教育格差を解消することを目指し、生活困窮世帯が塾や習い事、体験活動等で利用できるスタディクーポンを提供してきた。スタディクーポンの政策導入自治体数は6件（大阪市・南房総市・渋谷区・上峰町・千葉市・那覇市）、東京都での政策化が実現している。

今後は、引き続き、自治体等でのスタディクーポン政策化の推進によって、支援の拡大を目指す。また、「スタディクーポン」のノウハウを生かし、2023年度より子どものスポーツや文化芸術、体験活動に特化した奨学金制度「子どもの体験奨学金ハロカル」をモデル事業として開始し、困窮世帯の小学生を対象とした体験格差の是正に取り組んでいく。

SDGs達成に向けた特徴的な活動	2023年度より、「子どもの体験奨学金ハロカル」をモデル事業として実施する。東京東部エリア（主に、墨田区、江東区周辺エリア）で経済的困難を抱える家庭の小学生に対して、スポーツや文化芸術、体験活動で利用できるクーポン（奨学金）を提供する。現在も、東京東部エリア在住の14世帯19名に対して、トライアル事業を開始している。奨学金給付の支援を行うだけでなく、東京東部エリアで協力いただける教室・クラブの参画推進、自治体の福祉機関等との連携も担い、体験活動を通して、地域で困窮世帯を包括的にサポートするネットワークを作っていくことを目指す。
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	東京東部エリアの困窮世帯、延べ300名の支援を行う。100の地域で活動する文化・スポーツ・体験活動を行うクラブや教室との支援ネットワークを作る。
業種	教育、学習支援業
事業所数（本社が提出する場合のみ）	3 社
従業員（構成員）数	20 名 （うち外国人 0 名）
所在地	〒 130-0012 東京都墨田区太平1-11-6 そのだビル2階
URL	<a href="https://cfc.or.jp/">https://cfc.or.jp/</a>